



令和8年度 当初予算(案)のポイント

令和8年2月
磐田市

令和8年度当初予算の基本的な考え方

基本目標

安心できるまち！共に創ろう魅力ある磐田

まちづくりにおける5つの誓いを推進することで、市民が幸せ(ウェルビーイング)と誇り(シビックプライド)を実感でき、未来に希望を持ち続ける(サステナブル)ことができるまちを目指します。

<3つの重点戦略>

多様な立場の方が「学びと対話」を通じて関わり合い、人が集まるまちを共に創り出す

-  **活力ある地域経済の「共創」**

多様な業種の企業誘致やスタートアップ支援、新たな産業用地の確保を図るとともに、農林水産業を含めた既存産業の育成・支援など、地域経済の持続的な成長と雇用を創出し、若者や女性に選ばれる魅力的なまちを目指します。
-  **誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」**

子どもや高齢者、障がい者など、多様な方々のライフステージに応じた包括的な支援を充実させるとともに、生涯を通じた学びと健康づくりを促進し、多世代が交流し支え合うことで、誰もが安心して暮らせる社会を目指します。
-  **緑・環境・にぎわいの「共創」**

美しい自然環境と調和した緑豊かな環境を維持し次世代へ残すため、グリーンインフラの整備やゼロカーボンを推進するとともに、スポーツ・文化を生かしたにぎわいを創出することで、住む人も訪れる人も魅力を感じられるまちを目指します。

まちづくりにおける 5つの誓い

安心できる子育て環境と
魅力的な教育環境

暮らしと健康の安心と
長寿のまちへの魅力づくり

防災の安心と
魅力的なまちづくり

未来と仕事の安心と
若者に選ばれる魅力づくり

安心できる市役所づくり

当初予算の概要

令和8年度当初予算テーマ

**みんなで磨く！みんなでカケル！
魅力づくり予算**

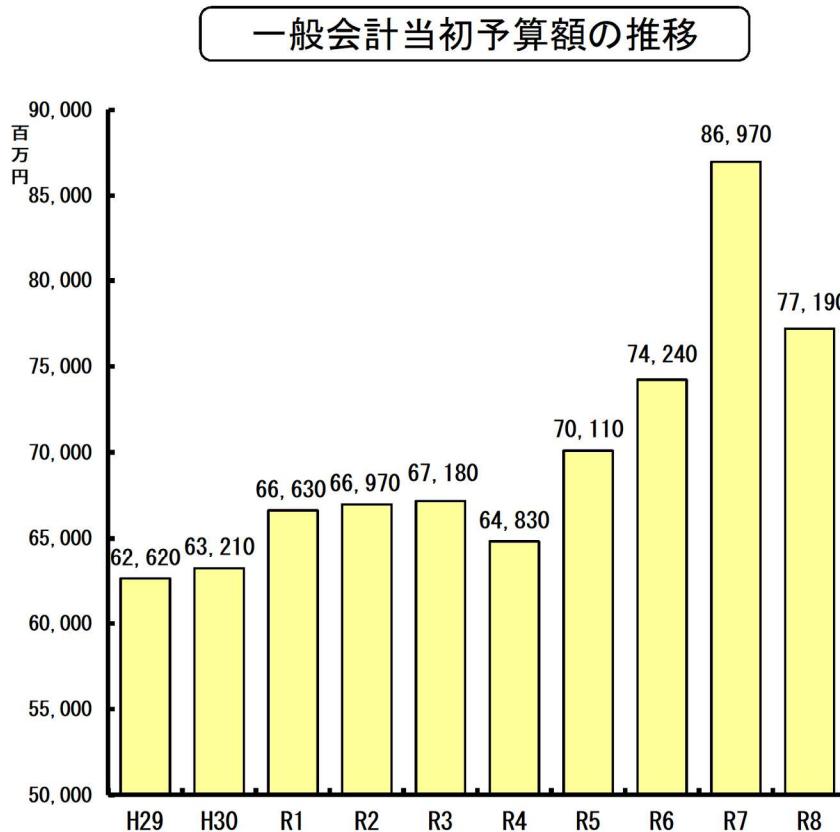
当初予算の概要

一般会計は過去 2 番目の予算規模

会計名称	令和 8 年度予算額	前年度比
一般会計	771億 9,000万円	△97.8億円 (△11.2%)
特別会計 ①駐車場事業 ②国民健康保険事業 ③後期高齢者医療事業 ④介護保険事業 ⑤財産区（4会計）	333億 8,170万円	+ 8.2億円 (+ 2.5%)
企業会計 ①水道事業 ②下水道事業 ③病院事業	415億 5,845万円	+19.5億円 (+ 4.9%)
全会計	1,521億 3,014万円	△70.1億円 (△ 4.4%)

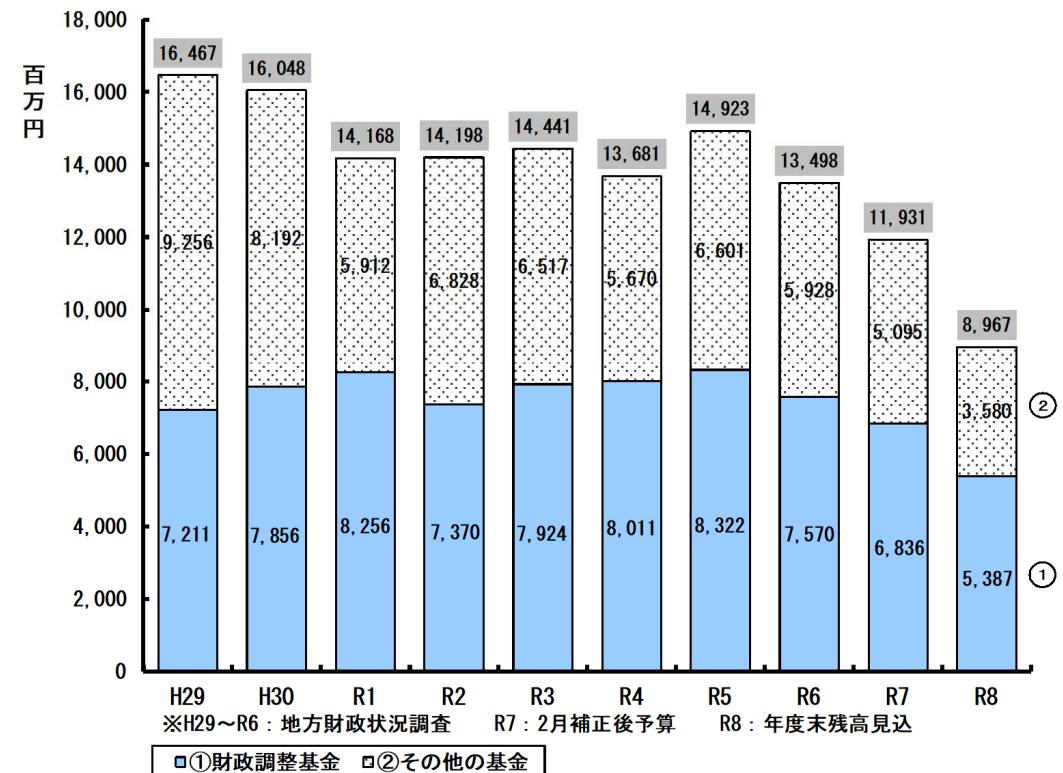
当初予算の概要

当初予算規模・基金の推移



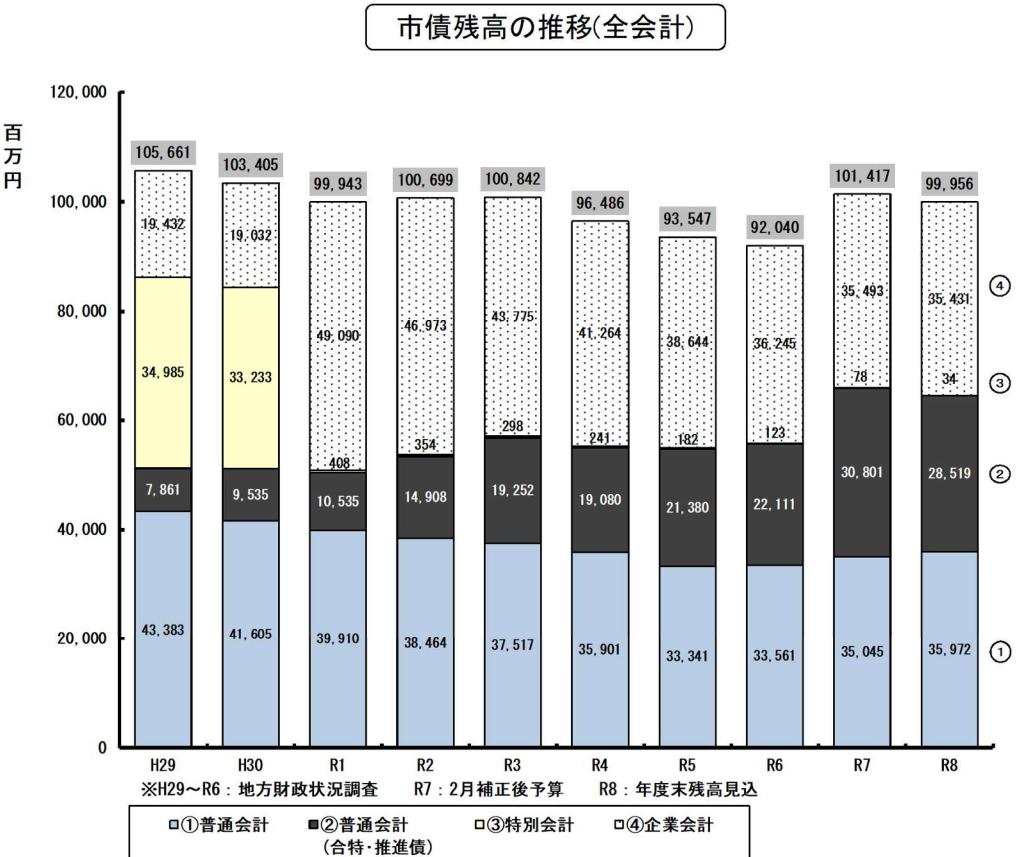
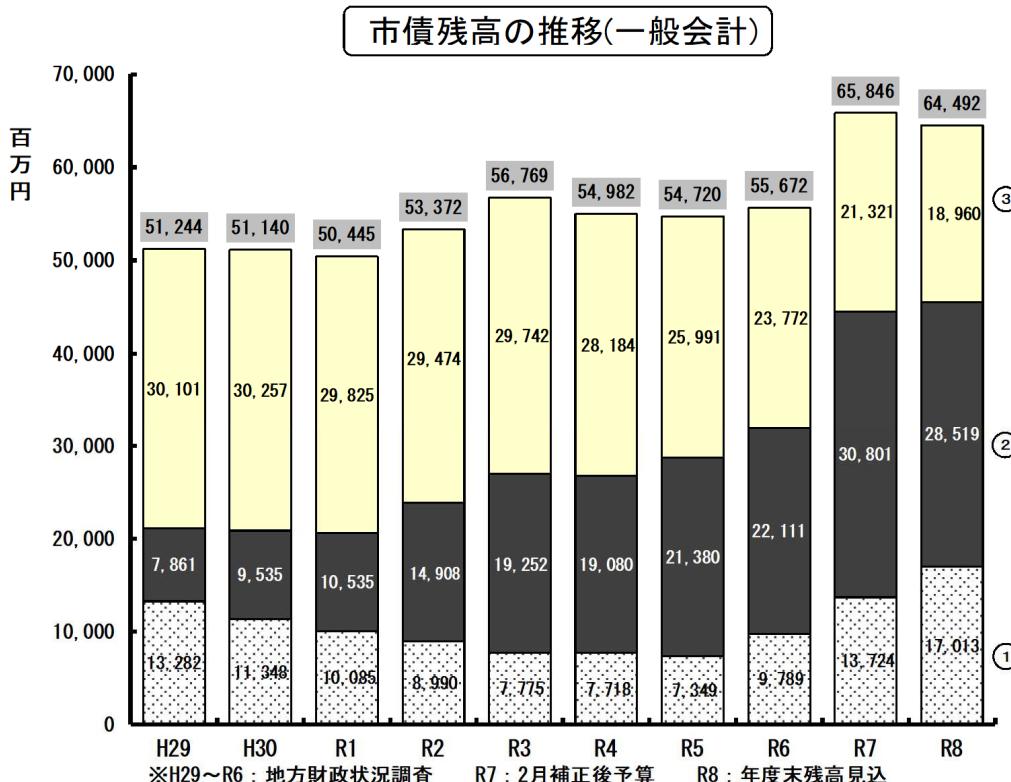
※令和8年度当初予算
財政調整基金繰入額：17.7億円

基金残高の推移（一般会計）



当初予算の概要

市債残高の推移



※令和元年度より農業集落排水事業及び公共下水道事業が特別会計から企業会計へ移行したことから、同会計の市債区分を変更しています。

「3つの重点戦略」

活力ある地域経済の「共創」

「3つの重点戦略」

活力ある地域経済の「共創」

人や企業が出会う起点づくり

◆姉妹都市フィリピン共和国ダグパン市との産業人材交流 **NEW**

2,017千円

- ◇中小企業の労働力不足の解消を図るため、産学官金連携、地域共創による海外人材の確保

◆姉妹都市マウンテンビュー市における産業交流 **NEW**

6,631千円

- ◇市内企業等と共に産業交流や現地企業とのネットワーク構築

◆公民連携コーディネーターの設置 **NEW** 6,600千円

- ◇行政・地域課題の解決を図るため、民間事業者情報の集約やマッチング支援、伴走支援など公民連携をトータル的にコーディネートする人材を配置

◆「磐田で働く」を全力で応援!UIJターンの促進

33,179千円

- ◇近隣市等と連携した企業説明会や、IWATA合同入社式、就活情報専用サイト「磐田de」のリニューアル、奨学金返済に対する支援など、UIJターンや移住・地元定着促進を効果的に展開



「3つの重点戦略」

挑戦を後押しする仕組みづくり

◆中小企業等×スタートアップ企業の協業事業への支援

磐田版オープンイノベーションを強化 14,000千円

- 本市と産業イノベーションマネージャーとの連携により中小企業等とスタートアップ企業による新たな協業事業に対する補助 **NEW**

◆新たな特産物レモン産地化への挑戦 26,647千円

- 関係団体や企業との連携によるレモン産地化
- レモンを栽培する圃場整備や未収益期間栽培管理に対する支援
- 生産者等と共に磐田産レモンの魅力を創出 **NEW**

◆遊休不動産を舞台にリノベーションスクールを開催 **NEW**

7,626千円

- 中心市街地に実在する遊休不動産を舞台に、未来の民間プレーヤー、不動産オーナー、行政が一堂に会し、ビジネスプランを創り出す短期集中の実践型スクールを開催

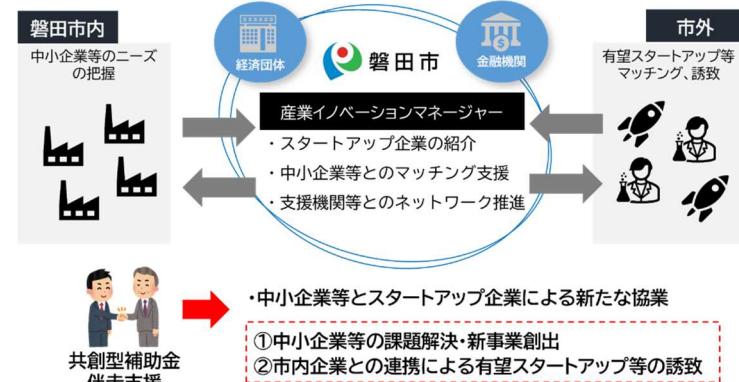
◆企業立地と操業を後押し 179,791千円

- 工場等の新設・増設を行う企業の用地取得費や初期費用等に対する補助

◆第3次産業のオフィス立地を支援 30,000千円

- 若者や女性の働く場を創出するため、情報通信業等の第3次産業に着目し、市内でオフィスの新設を行う企業へ支援

活力ある地域経済の「共創」



「3つの重点戦略」

活力ある地域経済の「共創」

地域の強みをさらに発展させる仕掛け

◆磐田産茶葉を海外へ展開 **NEW**

3,000千円

- ◇海外販路の拡大に取り組む生産者等に対する静岡県と協調した補助

◆福田漁港の魅力を発信 **NEW**

1,000千円

- ◇福田漁港水産振興イベントに対する補助

◆新磐田SIC周辺のさらなる産業用地の拡大 **NEW**

8,569千円

- ◇新磐田スマートインターチェンジ周辺における産業用地の開発可能性調査

◆海岸堤防完成後を見据えた産業用地の創出 2,101千円

- ◇福田沿岸部における産業用地確保に向けた協議



「3つの重点戦略」

誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」

「3つの重点戦略」

誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」

健康で自分らしく生きる ~健康寿命県内1位を目指す~

◆若者世代も含めた健康へのきっかけづくり 2,072千円

- ◇産官学で連携してレシピや運動メニューを開発しSNSなどで発信 **NEW**
- ◇企業などと共に「健幸いわたWEEK」を開催 **NEW**
- ◇飲食店などと共に「モアベジ350」を推進
- ◇企業との共創による「まちの保健室NEO」の推進

◆生活習慣病予備軍にアプローチ 737千円

- ◇「体ととのA(え)プログラム」を通じて健診結果A判定への支援 **NEW**

◆働き盛り世代の健康づくりをサポート 54千円

- ◇中小企業を中心とした健康経営を支援する仕組みづくりを庁内プロジェクトで検討 **NEW**

◆自分の健康を守る健診受診環境等の充実 57,255千円

- ◇後期高齢者健診においても全年齢で集団バス健診を選択できるよう拡充
- ◇県と連携した特定健診受診勧奨事業の実施
- ◇LINEを活用した特定保健指導の実施



「3つの重点戦略」

誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」

安心してこどもを育み学びあう

◆プレパパママ教室の拡充

1,548千円

- ◇妊婦やパートナーが前向きに育児に向き合えるきっかけづくりとして定員を拡充し支援を強化

◆ペアレント・プログラムの開催 NEW

99千円

- ◇1人で抱え込まない、虐待のない社会を目指し、子育てに悩みや不安を抱える保護者を対象に全6回の講座を開催

◆こども誰でも通園制度の開始 NEW

4,224千円

- ◇令和8年4月から乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を開始
- ◇生後6か月から満3歳未満までの保育所等に通所していないこどもが対象
- ◇月10時間まで親の就労要件を問わず柔軟に利用可能

◆子どもの発達への不安や悩みに寄り添う支援

451千円

- ◇県認定のペアレントメンター（先輩保護者）を交えた保護者同士による発達支援おはなし会（ほっこりカフェ）を開催
- ◇発達支援の専門知識を持つ職員の育成と保育園等へのサポート体制を構築



「3つの重点戦略」

誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」

健やかに成長する

◆5歳児健康診査の試行 NEW

◇就学前の健診による身体的・社会的発達状況の観察と、心身異常の早期発見

624千円

◆公立園の統合に向けた施設改修 NEW

◇大藤こども園と向笠幼稚園の統合に向け、遊具の修繕や大人用トイレの改修など
教育・保育環境を充実させるための改修

4,488千円

◆公立幼稚園のこども園化（保育園枠を創設） NEW

◇磐田北幼稚園、磐田南幼稚園を幼稚園型認定こども園とし、3歳～5歳の
保育園枠を創設
◇磐田南幼稚園のトイレ洋式化、保育室床修繕などによる教育・保育環境の充実

7,869千円



「3つの重点戦略」

誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」

健やかに成長する

◆向陽学府小中一体校の開校 1,413,398千円

- ◇スクールバスの運行を開始
- ◇付属施設や駐車場などを整備



◆はまぼう学府小中一体校の基本構想策定 NEW 6,158千円

- ◇地域との共創による基本構想策定に着手

◆富士見小学校の増築 405,085千円

- ◇児童数に応じた教室の確保

◆磐田北小学校整備に向けた基本構想策定 4,218千円

- ◇地域との共創による構想策定

◆小中学校体育館に空調設備を設置 731,608千円

- ◇令和7年度から令和9年度の3年間で整備
- ◇令和8年度は小学校8校、中学校3校で整備予定



「3つの重点戦略」

誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」

健やかに成長する

◆校内教育支援センターを新たに6校開設 17,512千円

- ◇校内教育支援センターを市内すべての学府に設置
個々のニーズに合わせた子どもの居場所を確保

◆外国にルーツを持つこどもたちへの支援 15,364千円

- ◇外国人児童生徒に対する日本語初期支援、支援員派遣による伴走支援
- ◇磐田の強みである多文化共生を土台に、さらなる支援体制の確立に向けた
計画策定 **NEW**

◆学校外プールを活用した水泳授業の検証 10,155千円

- ◇向陽小学校・向陽中学校の水泳授業で検証

◆地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」 休日部活動の完全実施へ 57,799千円

- ◇令和8年9月から、土日等の地域展開を完全実施
- ◇地域おこし協力隊による推進



「3つの重点戦略」

誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」

尊重しあい支えあう

◆誰もが安心して相談できる重層的支援体制づくり NEW

- ◇高齢や障がい、生活困窮など、複合化した困りごとを包括的に受け止める支援体制を整えるための実施計画作成や職員育成

1,668千円

◆人生会議(ACP)の推進 NEW

- ◇普及啓発シンポジウムの開催
- ◇民間企業と普及啓発に関する連携協定の締結

346千円

◆障がい者雇用に向けた理解促進 NEW

- ◇e-ラーニングの実施により市内企業の障がい者雇用に対する理解促進

209千円

◆ひとり親就労専門相談員の配置 NEW

- ◇ひとり親の不就業や離職を防ぐための支援計画の作成やハローワークへの同行、就職後のフォローなどの伴走支援

4,427千円

◆くらしと仕事相談センター支援員の増員

- ◇生活困窮者の複合化した相談にきめ細かく対応
- 支援員を4人から5人に増員

33,441千円

◆みんなが主役のまちづくりを後押し

- ◇中学生以上全住民アンケートの実施
- ◇地域デザインカレッジの開催
- ◇市民ファシリテーターの養成と活動への支援
- ◇自治会アンケートの実施と課題解決に向けた研究

1,818千円



「3つの重点戦略」

誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」

尊重しあい支えあう ~子どもの声をよくきくまちプロジェクト~

◆こども若者会議

- △こども若者自身でテーマを選定
こども若者目線での気づきや学びを通して市に提案

1,543千円

◆ユニセフこどもにやさしいまちづくり事業(CFCI)の取組 **NEW**

0千円

- △既存の取組をこども目線で整理し分析することで今後の施策に反映させる



◆子どもの権利を考える市民向けシンポジウムの開催 **NEW**

220千円

- △子どもの権利を知る、みんなで考えるシンポジウムを開催

◆安心して過ごせる居場所を増やす取組

1,000千円

- △食事提供や学習支援、遊びや地域交流などの開設等に対する補助
- △こどもだけでなく多世代交流の居場所への発展



「3つの重点戦略」

緑・環境・にぎわいの「共創」

「3つの重点戦略」

緑・環境・にぎわいの「共創」

自然と共生する緑豊かなまちづくり ~グリーンインフラの推進~

◆被ばく桜の接ぎ木に挑戦 NEW

98千円

- △農林環境専門職大学との共創によりかぶと塚公園の被ばく桜の接ぎ木に挑戦
被ばく桜三世を新消防庁舎のシンボルツリーにすることを目指す

◆さくら百年プロジェクト

1,000千円

- △地域や事業者等との共創によりさくらの植樹を推進し
100年後の未来に、人々の想いや物語、緑豊かな風景を継承



◆長藤の移植を生かした新たな名所づくり NEW 16,166千円

- △長年地域のシンボルであり観光名所として親しまれている豊田熊野記念公園
の長藤を移植し新たな名所づくりに着手

◆海岸堤防の整備推進

1,935,054千円

- △市施工分の令和8年度完成に向け県との共創により推進



◆歩道改良と街路樹の整備

100,000千円

- △市道見付岡田線の歩道改良工事にあわせ常緑ヤマボウシを植樹

「3つの重点戦略」

緑・環境・にぎわいの「共創」

自然と共生する緑豊かなまちづくり ~グリーンインフラの推進~

◆「緑の基本計画」の策定 3,289千円

◇気候変動対応・地域防災・心の豊かさの促進を念頭に置いた計画の改訂

◆生物多様性と地域の共生推進 NEW 3,977千円

◇生物多様性地域戦略策定に向けて、動植物の現状把握などの基礎調査を行い、
地域の生物多様性を可視化

◆いわたエコ未来共創プロジェクト NEW 650千円

◇市民が身近なテーマで環境について学ぶ講演会やパネルディスカッションの開催
◇フィールドワークなどを通して環境に関する「いわた気候変動ワークショップ」の開催



「3つの重点戦略」

緑・環境・にぎわいの「共創」

にぎわいを紡ぐ

◆姉妹都市提携50周年記念 ~友好の絆を未来へ~ **NEW**

姉妹都市50周年

2,400千円

- ◇マウンテンビュー市・ダグパン市を招き、記念式典等の開催を通じ姉妹都市交流の新たな価値を創出

◆関係人口の創出・拡大の取り組みで磐田のファン・応援団を増やす

13,657千円

- ◇市公式インフルエンサーによる魅力発信 **NEW**

- ◇いわた首都圏等交流会を東京に加え新たに名古屋等で開催
- ◇地域おこし協力隊を活用した動画コンテンツ等による魅力発信

◆観光基本計画の策定 **NEW**

2,915千円

- ◇本市の特性や資源を生かした魅力ある観光施策・地域づくりを推進する中長期的な指針となる計画策定に向けた基礎調査や基本方針の検討

◆観光地エリア景観計画の策定 **NEW**

60千円

- ◇個性・魅力を生かした「磐田駅～遠江国分寺跡エリア」の景観づくりを目指す地域景観ミーティングの実施



「3つの重点戦略」

緑・環境・にぎわいの「共創」

にぎわいを紡ぐ

◆ホームタウンの誇りを高める

31,312千円

- ◇ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業
- ◇静岡ブルーレヴズホストゲーム中学生一斉観戦事業
- ◇静岡SSUボニータホームゲームマッチデーの開催 **NEW**



◆ウォーキングフットボールの全国大会を開催 **NEW**

1,575千円

- ◇年齢、性別、障がいの有無にかかわらず誰でも楽しめるインクルーシブスポーツ
ウォーキングフットボールの全国大会を様々な関係者との共創による開催

◆スポーツプラットフォームの推進

1,336千円

- ◇スポーツを核に「異文化×スポーツ」による磐田市発の新たな価値を創出



「3つの重点戦略」

緑・環境・にぎわいの「共創」

にぎわいを紡ぐ

◆スポーツ分野に地域おこし協力隊を採用 **NEW**

16,476千円

- ◇磐田の魅力発信や地域課題の解決のため、スポーツプラットフォームコーディネーターとホームタウン推進の分野で地域おこし協力隊を採用



◆本物を体験するスポーツイベント開催を支援 **NEW**

2,000千円

- ◇スポーツ協会に所属する各スポーツ団体が実施する大規模なこども向けのスポーツイベントに対する補助

◆文化ゾーンに新たな拠点誕生! **NEW**

3,485千円

- ◇ひと・ほんの庭 にこっと2階に新たな展示室をオープン
- ◇様々な団体等と共に創し、オープン記念企画展を実施
- ◇木彫りアーティストを講師に迎え、木の魅力や木と触れ合う楽しさをテーマにこども向けワークショップ、講演会、作品展示の一体的開催



◆遠江国分寺跡の整備 ~歴史を市民とともに育てる~

- ◇木製燈籠の制作に着手(令和10年度完成予定)
- ◇四阿(あずまや)3基を整備

208,168千円

「3つの重点戦略」

緑・環境・にぎわいの「共創」

未来のビジョンを描く

◆竜洋海洋公園の再整備に向けた基本構想の策定 **NEW**

25,238千円

- ◇公園全体の再整備に向けて民間活力を導入した新たな公園整備手法の可能性調査



◆旧市民文化会館等跡地の利活用 **NEW**

22,044千円

- ◇官民連携導入調査・事業者公募資料の作成

◆都市計画マスタープラン・立地適正化計画の改定

4,230千円

- ◇令和9年度改定に向け、全体構想及び防災指針の検討



◆「スポーツのまちづくり」の推進

6,502千円

- ◇御厨駅周辺まちづくりに係る基礎資料の作成
- ◇ホームタウンをキーワードにシンポジウムを開催

「3つの重点戦略」

緑・環境・にぎわいの「共創」

カーボンニュートラルの実現に向けて

二酸化炭素排出量などの削減が見込まれる事業を三段階で明示します。



- ・プラスチックの一括回収
- ・一般家庭における再エネをJクレジット化
- ・消防庁舎の整備推進



- ・公共施設照明のLED化
- ・事業者の脱炭素投資促進
- ・豊田学校給食センターのガス化



- ・資源循環アワードの実施
- ・植樹によるグリーンインフラの推進
- ・新中学生応援商品券の電子化
- ・インフラ施設の耐震化の推進
- ・会議のオンライン化

◎ CO₂が50%程度削減など著しい環境効果が見込まれる事業

○ 単年度においてCO₂の削減が見込まれる事業または中長期的に確実に見込まれる事業

○ CO₂の削減が次年度以降も見込まれるまたは他課へ水平展開が望める事業

二酸化炭素排出量削減効果

約 1,200 t-CO₂



杉の木に換算して約 400本分

「その他の主な事業」

物価高の影響を受けている市民と事業者を支援

国庫(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)
を活用して実施 総額約13億7, 516万円

◆プレミアム商品券事業 NEW 1,200,000千円

- ◇プレミアム分5,000円×20万口(紙商品券 10万冊 電子商品券 10万口)
- ◇令和8年8月からの使用開始を予定

◆小中学校給食費 保護者負担の軽減 NEW 78,952千円

- (令和8年度の対応)
- ◇小学校は、公費負担により完全無償化
 - ◇中学校は、食材料費の価格高騰分を公費負担とし、これまでの給食費を維持

◆保育園等給食費 保護者負担の軽減 NEW 65,161千円

- (令和8年度の対応)
- ◇公立保育園・こども園・幼稚園は食材料費の価格高騰分を公費負担とし、これまでの給食費を維持
 - ◇民間保育園・こども園・幼稚園等は、食材料費の価格高騰分を支援金として交付

◆中小企業の脱炭素投資を支援 5,000千円

- ◇脱炭素投資促進事業費補助金
自社のCO₂排出量を把握し削減計画に取り組む事業者に対し関連融資の
借入にかかる費用を補助
- など



「その他の主な事業」

防災・減災・消防

◆水災害対策プランの推進 1,077,180千円

- ◆一般会計 331,550千円
田んぼダムの推進・大池浚渫のための設計・樋門の改修
田川沢遊水地増設工事・水堀川外調整池用地測量
中泉地内バイパス水路整備・敷地地内排水路改修 など
- ◆下水道事業会計 745,630千円
今之浦第2ポンプ場電気設備更新工事
鳥之瀬排水ポンプ場電気設備更新工事 など



◆災害に強い森林づくりの推進 13,558千円

- ◆危険木の撤去
- ◆自伐型林業のための現地調査
- ◆雨垂地区の森林整備方針の決定

◆津波避難タワーの環境改善 NEW 3,960千円

- ◆津波避難タワーに日よけシートを配備



◆避難所「水の確保」事業 NEW 1,962千円

- ◆指定避難所の浅井戸に手押しポンプを設置

「その他の主な事業」

防災・減災・消防

◆静岡県総合防災訓練の実施 NEW 40,000千円

◇大規模地震を想定し、静岡県、磐田市、袋井市、森町が共同で防災訓練を実施

◆ふじのくに防災士資格取得の支援 NEW 250千円

◇サテライト会場の設置及び受講料の一部を負担

◆新消防庁舎の整備 744,722千円

◇造成工事など

◆はしご車のオーバーホール 43,003千円

◇導入から12年が経過、2回目のオーバーホールを実施

◆中東遠消防指令センター消防救急デジタル無線全更新 に向け着手 NEW 11,369千円

◇全更新は令和9年度を予定

令和8年度は調達支援業務とアスベスト調査を実施



「その他の主な事業」

次の時代へ～共創で描くまちのビジョン～

令和8年度は市の最上位計画である第3次総合計画など、将来のまちづくりの方向性や目標を定める様々な計画策定や調査を市民・事業者・各種団体と共に取り組みます。

◆第3次磐田市総合計画の策定 計画期間：令和9年度～令和16年度

産業・雇用・観光・移住定住

- ◆磐田市農業振興地域整備計画
- ◆磐田市経済産業振興プラン
- ◆沿岸部産業用地協議資料
- ◆新磐田SIC周辺産業用地開発可能性基本調査資料
- ◆上野部（雨垂）地内 森林整備方針
- ◆磐田市観光基本計画
- ◆観光地エリア景観計画

自治・スポーツ・歴史・共生

- ◆磐田市文化芸術振興計画
- ◆第5次磐田市多文化共生推進プラン
- ◆第4次磐田市男女共同参画プラン

子育て・教育

- ◆磐田北小学校改築基本構想・基本計画
- ◆はまぼう学府小中一体校基本構想・基本計画

福祉・健康

- ◆第5次磐田市地域福祉計画
- ◆磐田市重層的支援体制整備計画
- ◆健幸いわた「いきいき長寿プラン」

都市基盤・環境

- ◆磐田市都市計画マスターplan
- ◆磐田市立地適正化計画
- ◆磐田市緑の基本計画
- ◆竜洋海洋公園再整備基本構想
- ◆御厨駅周辺まちづくりに係る基礎資料
- ◆磐田市生物多様性地域戦略

「学び」と「対話」

3つの重点戦略を進めていくため、「行政×地域」「市民×企業」など、市民、地域、学校、企業、団体など多様な立場の人同士が学びと対話を重ねることで、新たな価値や魅力を共に創り上げていきます。

活力ある地域経済への「学び」と「対話」

- ◆中小企業等に学びの機会を提供／産業政策課
- ◆产学官金連携による海外人材確保／産業政策課
- ◆民間企業等との交流研修・人脈づくり／職員課
- ◆民間主導による中心市街地活性化／産業政策課

誰もが幸せに暮らせる社会への「学び」と「対話」

- ◆ダイバーシティ推進事業／自治デザイン課
- ◆小規模多機能自治推進事業／自治デザイン課
- ◆重層的支援体制の整備による相談機能の強化／福祉政策課
- ◆育児に不安がある方へのペアレントプログラム／こども若者家庭センター
- ◆磐田北小学校・はまぼう学府小中一体校基本構想／学校づくり整備課

緑・環境・にぎわいへの「学び」と「対話」

- ◆グリーンインフラ講習会、桜の育て方講座／都市整備課
- ◆環境基本計画改定に向けたワークショップ／環境課
- ◆スポーツプラットフォームの推進／スポーツのまち推進課
- ◆ひと・ほんの庭 にこっと2階の展示室の活用／文化振興課



校舎のない学び舎

磐田ここからラボ

多様な学びを楽しみ対話を通じて人と人との交流をはぐくむ

組織機構について

にぎわいの創出

スポーツ文化観光部の新設

本市の持つ強みをさらに磨き、観光資源としても活用していくため、新たに「スポーツ文化観光部」を設置し、自治市民部からスポーツのまち推進課と文化振興課を、教育委員会から文化財課を移管するとともに、「観光政策課」を新設します。

「スポーツ・文化・観光」などの事業に一体的に取り組み、にぎわいと魅力あふれるまちを目指します。

学びの環境の充実

自治市民部の再編

地域づくりを所管する自治デザイン課に加え、新たに「まなび推進課」を設置するとともに、教育委員会から中央図書館を移管し、市民の学びに関する事業を所管します。

多様な学びやつどいの場を提供し、そこから生まれる対話を通じて、人とのつながりができるまちを目指します。



組織機構について

教育支援の強化

教育委員会の再編

学校教育課を「学校教育課」及び「児童生徒支援課」に再編し、こども部と連携を図りながら、いじめ・不登校事案や外国人児童・生徒への対応等、支援を必要とするこどもたちに対する体制を強化します。

柔軟な組織運営

各支所市民生活課の再編

支所ごとに設置していた「支所市民生活課」を統合し、柔軟な職員配置など、組織マネジメントの強化を図ります。

部	課	課内室	グループ
令和7年度	12	57	7
令和8年度	13	55	7

